

わたしの好きな絵本

「今月の一冊～わたしの好きな絵本～」（7月）

＜ご紹介者＞

矢祭町長 佐川 正一郎

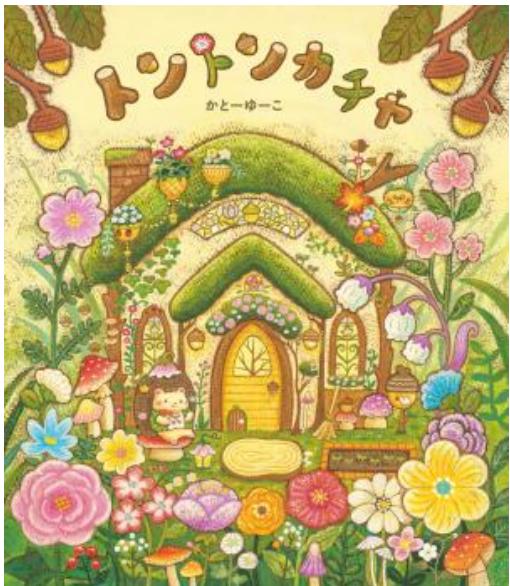
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『トントンカチャ』

かとーゆーこ 文・絵／金の星社 刊

対象：幼児から高齢者まで



今月は、矢祭町ふるさと応援大使のかとーゆーこさんの絵本です。かとーさんは、矢祭町手づくり絵本コンクールの第一回目の最優秀賞を受賞し、絵本作家になりました。

この“トントンカチャ”を読むと絵本の役割や、絵本の大切さが解ります。

絵本は、子どもたちが、最初に出会う本です。この絵本を読んで、心豊かに子ども達が成長し、本を愛する人になってほしいと、かとー先生の想いが伝わります。

いま、日本では、絵本の人気が高まっています。日本を担う子ども達が、未来を創るキッカケになってほしいと思います。必読の絵本です。

内容のご紹介

扉を開けると……？扉を開ける ドキドキ、選べる ワクワク、体験型絵本、きみは どれがすき？

扉を開けて、好きなものを選んで…かわいい森のお家を探検できる参加型絵本！ ハリネズミのハリップが案内してくれるのは、どんぐりの玄関や、フルーツのおふろなど、キラキラ素敵なおへやたち。待っていたお楽しみは…？

■□■かとーゆーさんのメッセージ■□■

「家」といえばお父さんお母さんがいる家庭を想像される方が大半ですが、この絵本は家族で暮らしている子も、親と離れて暮らしている子も、全ての子ども達に「今の自分の家」「自分の好きなもの」に寄り添ってくれるような絵本にしたいと思いました。お気に入りだった絵本は、大人になってからも心の中に残り続け、心を育て、絵本を楽しんだ記憶とともに生きる灯火を宿してくれます。「トントン カチャ」も、本をひらくたびにハリップたちが笑顔で迎えてくれる、誰かにとっての温かな一冊になれば幸いです。

（紹介文：金の星社／矢祭もったいない図書館）